



今年度もGGKニュースを配信してまいります！
県下全体で一緒にGakko Gyomu Kaizenを進めていきましょう！

令和5年度 学校の業務改善
「子どもたちと向き合う時間」と「教職員のゆとり」づくり

<p>子どもの自主性を育む 手をかけすぎない指導</p> <p>子どもを中心とする指導観への変換 ・「ティーチング(教える)」から「コーチング(導く)」へ ・「一言」から「個別最適」へ ・「尋ねる」から「選ぶ・考える」へ</p> <p>例えば… 子どもたちが ・家庭学習の内容を選択決定 ・企画立案する調査活動・行事 ・練習メニューを考える部活動 など</p>	<p>校務全般におけるDXの推進</p> <p>ICTの日常的な活用 ・得意な定例だけのものにしない ・常にICT活用を推進 ・広がる可能性の創出</p> <p>例えば… ・デジタル教材の活用・共有 ・会議の共有化、資料の「ポ」化 ・学校・保護者間の連絡等の共有化 など</p>	<p>新たな挑戦 -日課表の見直し-</p> <p>これまでの価値観・常識からの脱却 ・あたり前の再考 ・削減や精選に換らない見直し ・新たな効果の創出</p> <p>例えば… ・中学校：5限下校&100分部活動(守谷市) ・中学校：6時学校の実現(下谷市) ・小学校：午前40分5時間授業(湧生小) など</p>
---	--	--

「楽しむために削ぎ落とす」ではなく、引き続き子どもたちにとってより良い学びの場、質の高い教育を提供できるよう、教職員自身も自己成長を感じられたり、視野を広げられるようなゆとりを生み出していけると良いですね。

こちらのお知らせはもうお読みいただけましたでしょうか。令和5年度は、「子どもたちと向き合う時間」と「教職員のゆとり」作りをテーマとして、3つの大きなポイントを示しています。

このGGKニュースにも発行当初よりタイトルに「ふくいの子どもたちと先生のための」とつけています。

「楽しむために削ぎ落とす」ではなく、引き続き子どもたちにとってより良い学びの場、質の高い教育を提供できるよう、教職員自身も自己成長を感じられたり、視野を広げられるようなゆとりを生み出していけると良いですね。

Twitterで人気のさる先生の著書
大手外食チェーン勤務から教師になった経歴を持つ。

さる先生Twitterアカウント
出版社 学陽書房ウェブサイト

- 例えば…
- ・「エッセンシャル思考」…最小の時間で成果の最大化
 - ・仕事を見極める際の判断として“子どもを伸ばす”ことにつながっている？
 - ・仕事の4分類 ①マイナス仕事 ②ファッション仕事 ③マスト仕事 ④ベター仕事
 - ・トヨタ式を学校に「一番手っ取り早く自分の生産性を上げるためにできることは、●●●●」
 - ・短期的・中期的・長期的なタイムマネジメント力を身に着ける
 - ・学級経営オセロ ⇒学級経営力を上げると大幅な時間減
- 4つの角 ①授業 ②子どもとのコミュニケーション ③教室環境 ④20%の余裕

職員室、印刷室、机の中、PCの中
取り組んでみては？

仕事はここまで削減できる！

学校改革スタートブック

大分大学教育学部附属小学校 時松哲也 著 山田真由美 著 西川純 編集 学陽書房

全員が早く帰れる学校を実現！

50項目以上の業務を見直し、残業が激減！

仕事はここまで削減できる！学校改革スタートブック
大分大学教育学部附属小学校 時松哲也 著 山田真由美 著 西川純 編集 学陽書房

大分大学教育学部附属小HP
出版社 学陽書房ウェブサイト

長時間残業で不夜城の附属小学校が劇的に変わった！
「絶対無理」を「可能」にした、その方法がわかる！

- 例えば、行事見直しの視点として…
- ①子どもの肉体的、精神的負担になっていないか
 - ②年間の授業時数内でできる活動であるか
 - ③法令上守るべき内容を逸脱していないか
 - ④教員の超過勤務になっていないか

まずはできることをして
成功体験を！
「●●●●」をやめ、
すぐにできることをすぐにする

★みなさまからの書籍の推薦、役に立つWEBサイトの情報もお待ちしております！★

編集後記

令和4年度のGGKニュースにつきまして、訪問時に温かく迎えていただいたみなさま、取材をさせていただいた先生方、ありがとうございます。今年度これから訪問させていただく学校のみなさま、どうぞよろしくお願いいたします。

GGKニュースはペーパーレス化の観点からデータで配信しています。過去の記事はリンク先で閲覧可能です。画面上で好みのサイズに拡大することも便利です。紙が減ると机がすっきりしますよね。

今、紙で読んでいる方！外部からの通知等を受信したデータのまま共有することからGGKしてみませんか？

次号 VOL.2も
お楽しみに！



まずは…他の学校・他の教職員の好事例を真似てみましょう！

文部科学省が改定した新しい「全国の学校における働き方改革事例集」は、活用していますか？

今回大きく変わったところは、①事務職員にスポットを当てた特集、②学校・保護者間の連絡のデジタル化、③組織でも個人でも活用できるチェックシートの3点です。

昨年度GGKニュースの取材で多くの校長先生から共通してお話いただいたことは、「日常から業務改善を意識する」そして「まずはトライしてみる」ということでした。入念な準備は必要不可欠ですが、「始めたらもう変えない」ということではなく、課題を集めて柔軟に改善していく姿勢が新しい取り組みには大切です。

学ぶことは真似ること…まずは好事例に目を通していただき、トライできそうなものはないか、検討してみませんか？

▶各種リンクはこちら

[全国の学校における働き方改革事例集](#)
(全ページ)

(分冊)[パート1](#)・[パート2](#)・[パート3](#)

[チェックシート\(Excel\)](#)
[チェックシート活用例](#)

令和5年3月22日開催
[働き方改革フォーラムについて](#)
(アーカイブ動画視聴可能)